



パートナー通信安曇野 第7号

2009.10.3

発行: NPO 法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部
 安曇野市穂高柏原 1132-2 (有) ライフポート安曇野内
 TEL : 0263-81-1325
 URL : <http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino>

編集: 木船

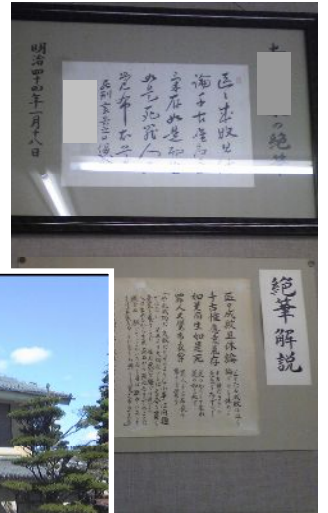


みみより情報① 「第7回ふるさとウォッチング in 安曇野」を開催！今回は明科地区の明科・潮の一带。

来る10月25日(日)、第7回ふるさとウォッチング in 安曇野を開催します。今回は水郷、明科！龍門寺を皮きりに、篠ノ井線廃線敷き、旧木戸橋通船跡、県の水産試験場、神明宮、郷土史資料館などを訪ね歩きます。長峰山と廃線敷きで静かなブームを呼んでいる明科ですが、他にも見所はたくさんあります。どこか神秘的な明科をじっくりゆっくりめぐってみませんか。



古い街道沿いには意外な建物がひっそりと残されている。路傍の石仏にも目を奪われるものがある。
 右はある人の絶筆です。さてだれのものでしょう。



みみより情報② 当NPOが協力参加するこの秋の催し一覧。

イベント名	日時	場所	内容
安曇野百選ウォークラリー (別紙参照)	10月10日(土) 9:00~10:30 受付	信濃教育会生涯学習センター(受付)	身の周りの地域の宝について、子どもと一緒に歩きながら楽しく学びます。場所は第4回ウォッチングを開催した飯田地区。
安曇野フェスタ	10月17日(土) 9:30~17:00	国営アルプスあづみの公園	ケルメゾーン(フェスタ限定安曇野弁当など)、安曇野ブランドデザイン会議ゾーン、ステージゾーン(三四郎ミニコンサートなど)。パネル出展。
安曇野環境フェア2009 (別紙参照)	11月7日(土) 10:00~18:00頃	堀金公民館	「第1回屋敷林サミット in 安曇野」安曇野に点在する屋敷林の保全について考えます。パネル出展。
同上 2日目 (別紙参照)	11月8日(日) 10:00~15:00	同上	女優・浜美枝講演会「農と食と暮らし...今私たちにできること」等。パネル出展。

報告① 第5回「ふるさと回帰フェア2009」に参加しました。

去る9月12日に大阪梅田スカイビルで、また同23日に東京の早稲田大学で、それぞれ『ふるさと回帰フェア2009』が開催され、当NPOもブース出展をして来ました。この催しはNPO『ふるさと回帰支援センター』の主催による今回で5回目となるもので、今年には田原総一郎を始めとした著名人の講演会も盛り込まれるなど、とてもにぎやかなものでした。

全体の来場者数は大阪が約5,200名、東京が32,000名。一方出展ブース数は、大阪が68、東京が104とのこ



とでした。当NPOの他に長野県からは、駒ヶ根市、松本市、佐久市、長野市、飯山市、下水内郡栄村などが出

展してましたが、安曇野は人気があり、当NPOのブースには来場者が絶えませんでした。大阪ではパートナー登録をして次回ウォッチングへの参加申し込みをしてくれた方もおり、「こんな遠くから来てくれるんだ。」とこちらが感激しました。

観光パンフレットでは分からない安曇野の魅力や我々の活動を、このような形で県外の方々に知っていただく機会が持てたことは、とても貴重な経験になりました。(田舎暮らし部会長望月)

報告が遅くなりましたが、去る7月5日(日)、第6回のふるさとウォッチング in 安曇野を開催しました。庄屋・多田嘉助が中心となった百姓一揆、貞享騒動の顛末を学ぶことで、江戸中期の安曇野の庶民の暮らし向きに思いを馳せたウォッチングでした。参加した皆さんからいただいたアンケートによると、「印象に残った場所は」という問いに対して、「義民館・義民社」が27%でトップ、



「歴史的町並み・屋敷林」が26%と続き、この二つが群を抜いています。「義民館」とは、「貞享義民記念館(三郷明盛3209 TEL:0263-77-7550)」のことで、貞享騒動の一部始終を芝居仕立てで鑑賞できる無人の特設シアターや、当時松本藩が行っていた、浅はかなトリックに満ちた課税の仕方が分かる資料室があります。

この事件を知って分かることは、処刑された28人の痛みや無念とともに、公平な行政や今で言う基本的人権の



貞享義民記念館で説明を聞く。キーワードは「五公五民」と「二斗五升」など。

擁護を求める自由民権運動のモデルとして、安曇野だけでなく全国に、そして現代にも通用する出来事だったということではないでしょうか。

「また参加したいか」という問いには、「したい」の71%と、「場所による」の29%で併せて100%。そこで、次回どのような場所があるかという問いには、「歴史的町並み・屋敷林」「堰や湧水などの水辺」が1位2位、次いで「道祖神・社寺等名所旧跡」と「田園風景と北アルプス」がいずれも高率で続きます。「次回は明科」と具体的な地名を書いてくださった方も何人かいらっしゃいました。ご要望の声も増えてきたこともあり、次回はいよいよ明科です。

いつも晴天に恵まれ、無事故で回を重ねられているのは、みなさんのご協力の賜物です。これからも当企画のご支援をよろしくお願い申し上げます。(木船)

ふるたはるえ

《当NPO会員が会の活動、安曇野などについて縦横に語ります。》今回は古田春江です。



～ご存知ですか。繊維のダイヤモンド『天蚕(ヤママユ)』～

安曇野の9月は稲刈りもそろそろ終わりを告げ、山々は錦を織りなす準備をしている季節になります。

この地に暮らし始めて11年目を迎え、毎日違う景色と、新しい出会いに充実した日々を過ごしています。それまで、年に数回山登りで安曇野を訪れていた私は、この地で220年余り飼育されている「天蚕」を知ることとなり、その緑色の幼虫に恋焦がれ、安曇野に移住を決意いたしました。移住当初は隣町に住まいを構え、知人を訪ねては天蚕に関するお話をお聞きし、農家として一歩を踏み出す準備期間としました。

飼育農家として参入したのは7年前のことでしたが、よそ者で何も知らない



懇切丁寧に指導して下さったお陰で、何の不安もなく飼育に取り組むことが出来ました。

地域で充実した楽しい生活が出来るのは、住民の方々とのお付き合いがとても大事だと実感しています。移住した当初、それまでの生活と同じように煩わしさから逃れたい願望もありましたが、それでは早晚孤立していたと思います。

てんさん

私たちが、農家の方々が仲間として温かく迎え入れ、

天蚕業に関わって後に後継者不足が浮上り、この地で息づいてきた伝統産業を継続していくために解決策を模索していた頃、住民と移住者、移住希望者のネットワークづくりを趣旨とするこの会を知り、さっそく仲間に加えていただきました。その頃、市民にあまり知られていない「天蚕」を皆さんに知っていただくことも一つの目的でした。

以後、この会の応援団という名前が示す通り、たくさんの応援をいただきました。これからも微力ながら、少しでも皆さんのお役に立てればと思っています。よろしくお願いいたします。(安曇野市天蚕センター事務局/古田)

ふるたはるえ



《「信州ふるさと作り応援団」のスタッフを紹介します。》こちらも古田春江

活動が活発な当応援団はなぜか圧倒的に男所帯だ。男所帯が女性の視点を備えるのは容易なことではない。その「応援団」において、紅一点という重責を長い間担って来てくれたのが、他にもない古田春江だ。しか



第3回ウォッチングで天蚕の説明をする様子。一番奥が古田氏。安曇野市天蚕センターにて。

し紅一点などと言われると本人は狼狽するだろう。なぜか。それは上のコラムを見ても分かることだが、人間が熱いのである。「緑色の幼虫に恋焦がれた」からといってそうそう移住できるものではない

が、やってしまう。紅一点とか女性の視点とかなまやさしいものではないのだ。男も女もヘッタクレもない。そう古田春江は「応援団」のまぎれもない重鎮である。

なお、最近新たに複数の女性が入団したことにより、「紅一点」は古田女史だけの名誉称号として永久保存された。(木船)